

令和5年度厚生労働省行政事業レビュー外部有識者会合 議事概要

1. 日時

令和5年4月27日（木）10:30~11:47

2. 場所

厚生労働省省議室

3. 出席者

外部有識者：伊藤委員、井野委員、大屋委員、加藤委員、関委員（※）、高久委員（※）、中益委員（※）

（※）オンライン参加

厚生労働省：大臣官房会計管理官
政策立案・評価推進官

4. 議事内容

（議題）令和5年度公開プロセス対象事業の選定

厚生労働省から公開プロセス対象候補の16事業について、事業概要、選定理由及び想定される論点を説明。外部有識者の投票を踏まえて、意見交換が行われた結果、以下の6事業が今年度の公開プロセス対象事業として選定され、了承された。

<令和5年度の公開プロセス対象事業>

- ・ 歯科衛生士に対する復職支援・離職防止等推進事業<医政局>
- ・ がん診療連携拠点病院機能強化事業等<健康局>
- ・ 未払賃金立替払事務実施費<労働基準局>
- ・ 求職者支援制度に必要な経費<職業安定局、人材開発統括官>
- ・ 社会福祉施設等施設整備費補助金<障害保健福祉部>
- ・ 在宅福祉事業費補助金<老健局>

5. 外部有識者の主なコメント

<総論>

- 裁量的経費の事業だけではなく、厚生労働省予算の大宗を占める義務的経費の事業について、春レビューで扱うことは厳しいと思うが、秋レビューでは取り上げることを検討すべき。
- (公開プロセスは行政事業レビューシート単位で議論するということは理解の上で、) 今回の対象候補事業をみると関連する事業をまとめて議論をすべきという事業もある。
- 行政事業レビューに期待されることは、得た知見を省全体で如何に横展開するかということ。行政事業レビューで得た経験は途切れさせずに引き継いでほしい。

<各論>

①歯科衛生士に対する復職支援・離職防止等推進事業

- 歯科衛生士だけではなく、他の分野の状況も確認する必要があり、横展開が重要。

⑥未払賃金立替払事務実施費

- 本制度を利用するに当たって本制度が十分に知られているのかという点等を議論することが適当。
- 制度開始後、五十年近く経過しているが、過去に公開プロセス対象となっていない事業であり、制度の運営の見直しをすべきではないか。

⑩労働時間等の設定改善の促進等を通じた仕事と生活の調和対策の推進 (テレワーク普及促進等対策)

- テレワークが一定程度浸透した現段階でより効率的な働き方を見据えての議論を行うことは有用であるが、新型コロナウイルス感染症の5類移行後の社会情勢を踏まえた上で議論を行うことが望ましい。

⑮在宅福祉事業費補助金

- 老人クラブの活動の活性化が EBPM 的にどう評価できるのかという点で興味深い。

⑯国民健康保険制度関係業務事業費補助金

○医療 DX を進めていく上で重要な論点の一つ。システム関係は日本全体で遅れをとっている分野であると思うので、公開プロセスで取り上げることでより良い方向に進んでいくきっかけになるのでは。

- 以上 -